①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・20までの数の大小を比較することができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・任意単位のいくつ分と考えて長さ比べをしている。

教材研究ノート№1-B-3

≪学習問題≫

みらいさんと　つばささんが　ばしょ

とりあそびをしました。

どちらが　ひろいでしょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

みらい

つばさ

②見通し: かさねてくらべることはできないよ。

→マスのかずを　かぞえれば，どちらがひろいか　わかる。

②学習課題:どちらがひろいか，はっきりわかるように　くらべかたをかんがえよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究:ひろさを比べる方法を自分の言葉で説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どのように比べたのか　比べ方を　お話しよう」

→「マスの数を数えたら，9と11でみらいさんの方が広い」

④共同追究後半（思考を深める）

「どちらが広いのかな」

→「マスの大きさが違うから比べられない」

「長さ比べでも，同じ長さのいくつ分で比べたから，同じ大きさのマスにしなければいけない」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・同じ広さのマスの数を数えれば，どちらが広いかはっきり分かる。

・マスの大きさを同じにしないと，マスを数えても比べることができない。

⑥定着･活用問題

(1) となりの友だちと　ばしょとりあそびをしよう。

(2) みらいさんとつばささんが　ばしょとり

あそびをしました。ひろいほうがかちです。

どちらがかったのか　おはなししよう。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

みらい

つばさ

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・導入で，実際に場所取り遊びをやってみせて，場所取り遊びのルールを確認したり，「自分もやりたい」という意欲をもたせたりする。

・共同追究では，長さ比べの時にも任意単位のいくつ分で比べたことを想起させて，同じ大きさを単位とすることや同じ単位のいくつ分として数値化することのよさに気付かせたい。

【板書計画】